

平成28年度 南庄内栄養と食を考える会 研修会のご案内

平成29年2月14日

代表世話人 小川 豊美（オープンハウス 奏）

日頃より皆様には御協力と御理解を頂戴し活動させて頂き誠にありがとうございます。

この度、山形県在宅医療推進事業で食形態パンフレットを作成し「ソフト食」へのご理解と「摂食・嚥下機能」との関係について研修会を重ねてまいりました。来年度は、南庄内における在宅NST（栄養サポートチーム）の活動進めていきたいと考えております。

そこで、すでに実施している先進地の事例について、富山県高岡市「高岡駅南クリニック」塚田邦夫院長を講師に迎え、このたび研修会を開催することとなりました。NSTに関わる多職種が参加して研修することで、活動に係る情報共有、スキルの向上及び地域課題の抽出を行い解決できる包括的な地域の「食支援」システム構築へ繋がればと存じます。是非、ご参加下さい。

○開催日時：平成29年3月12日（日） 14時～16時30分

○会場：鶴岡市：東京第一ホテル 鶴岡 2F 鶴の間

（住所：鶴岡市錦町2-10 電話：0235-24-7611）

○演題及び講師

「褥瘡ケアをしていたらなぜ栄養とリハビリに行きついたか」

医療法人社団研医会

高岡駅南クリニック院長

塚田 邦夫 先生

所属：

医療法人社団研医会

高岡駅南クリニック 院長

東京医科歯科大学医学部

非常勤講師

富山大学医学部看護学科

非常勤講師



<略歴>

1979年：群馬大学医学部を卒業。

東京医科歯科大学第2外科入局

1988年：東京医科歯科大学第2外科助手

米国クリーブランドクリニック

結腸直腸外科臨床研究医

1991年：富山医科薬科大学（現 富山大学）

第2外科移籍

1997年：高岡駅南（えきなん）クリニック

院長 現在に至る

<学会等>

日本褥瘡学会理事、日本ストーマー・排泄リハビ

テーション学会評議員、日本褥瘡学会・在宅ケア

推進協議会常任理事、日本創傷治癒学会評議

員、日本創傷・オストミー・失禁管理学会評議

員、高岡在宅NST研究会代表世話人、高岡在

宅褥創研究会会長、

日本外科専門医、日本消化器内視鏡学会指導

医・専門医、日本大腸肛門病学会専門医、日本

消化器病学会専門医、日本褥瘡学会認定師

主な著書：閉鎖性ドレッシング法による褥創ケア（南江堂）、創傷・褥創ケアと栄養管理のポイント（株式会社カザン）、在宅栄養管理（南江堂）、在宅高齢者食事ガイド（第一出版）、新床ずれケアナビ（中央法規）、新版ストーマ手術アトラス（へるす出版）

○定 員：50名

○対 象：在宅NSTに関心のある職種（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、介護福祉士、ケアマネ等）、病院NST職員、行政、ご興味ある方

別紙



FAX 0235-33-8572

オープンハウス奏 行き

平成28年度 南庄内栄養と食を考える会 研修会

平成29年3月12日（日） 14時～16時30分

所属機関名：

TEL：

氏名	職種

【申込先・申込方法】

南庄内栄養と食を考える会（オープンハウス奏） 担当 小川 豊美 FAX 0235-33-8572
別紙によりFAXにて申し込みお願い致します。

【申込締切】3月 8日（水）

【問い合わせ】オープンハウス奏 小川 豊美 TEL 0235-33-8571

【主催】南庄内栄養と食を考える会

申込期限：3月8日（水）までにご返送ください。